

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	人気漫画「センゴク」を活用した小諸市内地域プロモーション事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人こもろ観光局 (小諸市大手一丁目6番16号 電話：0267-22-1234 理事長：花岡 隆)
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,439,990円 (うち支援金： 2,429,000円)

## 事業内容

① 「センゴク」作者宮下英樹氏によるトークセッション  
10月19日(土)～11月17日(日)「小諸城址懐古園」  
で行われる紅葉まつりに合わせ、「センゴク」作者である  
宮下英樹氏のトークセッションを開催した。



仙石秀久の拠城である小諸城と当時の街並みをしのび、  
小諸城築城の背景を市民有識者とディスカッションした。また、仙石秀久が築いてきた小諸城下  
町の商業都市(街道整)にフォーカスし、北国街道の商都小諸として賑わった時代と現代を照ら  
し合わせ、秀久が作ろうとした城下町から地域プロモーションの可能性を探った。

#### ■ イベント名

漫画「センゴク」×小諸城の秘話～仙石権兵衛がいよいよ挽回のとき！

■ 日程：10月19日(土) 13:30 開演

■ 場所：小諸グランドキャッスルホテル

■ 対談テーマ：漫画センゴクを通して考える小諸城下町の歴史

対談者：宮下英樹氏(「センゴク」作者)

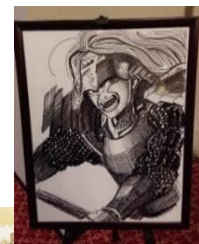
大西崇弘氏(こもろ観光ガイド協会会長・旧仙石家家臣)

佐藤重氏(仙石甲冑自作おじさん)

花岡隆太氏(仙石家ゆかりの温泉宿オーナー)

※小諸センゴク甲冑隊(県内外から遠征あり) 舞台応援 12名。

ライブペイン  
ティング画→

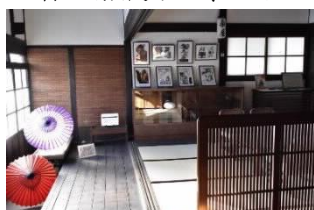


←参加  
者有志  
の撮影

宮下先生への質問タイムでは、なぜ仙石秀久に目を付けたのか、城下町形成や当時の住民との  
関係性についての意見交換、漫画家としての実務への質問などが飛び交い、参加者との交流を  
深めた。また特別実施したライブペインティングでは手元の拡大投影も行い、テキパキと仙石  
秀久をパネルに描いていく様子に観客が見とれていた。

② 「センゴク」原画パネル展、および小諸宿めぐりスタンプラリー

歴史的建造物脇本陣「糸屋」のプロモーションや、予てより課題となっている懐古園から商  
店街への誘客として、「センゴク」パネル展を開催した(紅葉まつり期間中)。市街地4か所へ  
各8点展示し、スタンプラリーとして城下町全体の商都を回遊してもらった(実績246名)。



糸屋



小諸図書館



町屋館



小諸グランドキャッスルホテル

- ③ センゴク×小諸オリジナル 顔出しパネル  
 センゴクイラストを使用した顔出しパネルを制作し、当日のお披露目後、小諸城址懐古園の三の門前に設置した。インスタ映え、SNS 発信による情報拡散や、漫画ファン層への新しいビジュアル投入による話題性、誘客および観光客の満足度向上コンテンツとなっている。



**事業効果**

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

**【目標・ねらい】**

- ① 当日来場者数の目標 150 人。  
 ⇒当日実績は約 150 人
- ② 紅葉まつり期間中のスタンプラリー参加者数  
 (小諸宿・商店街への誘客) 目標 300 人。  
 ⇒期間中実績は 246 人。
- ③ 懐古園紅葉まつり期間中入園者数  
 (H30 実績) 46,764 人 ⇒ (H31 実績) 39,926 人  
 考察) 台風 19 号の影響により、10 月の入込数は  
 極端に減った。ただ 11 月冒頭の各種広報発信の  
 成果として V 字回復をしている。

- ① 小諸への来訪者増
- ② 懐古園から商店街エリアへの誘客
- ③ 小諸城址懐古園の入園者数増  
 (紅葉まつり期間中)

※自己評価 **【 B 】**

**【理由】**

イベントとしては盛況で一程度の目標達成をしているが、やはり台風の影響により長野県全体が危険地域として認知されたため、非常に厳しい状況だった。しかしながら、人気漫画家と住民代表有識者のパネルディスカッションや、普段目にするのでできないライブペインティングは非常に好評だった。

**今後の取り組み**

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

2020 年秋には上田・坂城での全国山城サミットが予定されている。小諸市にも富士見城（飯綱山公園）が非常に景観の良い立地で存在しており、当イベントを繋げる形で、センゴクを絡めた形で何らかのイベントを行うことを計画したい。加えて、いよいよセンゴクで小諸が舞台になっているであろう秋のイベント時にも、センゴクに関連した情報発信をしていく事を想定している。

(参考) この春の桜まつりで、上記イベントとして懐古園から富士見城に向かう「甲冑伝令ウォーキング」を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点を鑑み中止とした。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある